

## ～ユニバーサルプレイング による創造性の開発～

ユニバーサルプレイングとは、子供や大人、高齢者や障害のある人等、誰でも直感的に使うことができ、遊ぶ楽しみを見つかることのできる道具のことです。童具館では、積み木を基礎に開発した、ユニバーサルプレイング「童具」の製作と活動カリキュラムづくりに取り組んでいます。

### どうぐ 「童具」による教育

#### ・わくわく創造アトリエ

「わくわく創造アトリエ」は、子どもの創造力を開発するために、和久洋三氏によって考案された、新しい幼児教育のシステムです。

童具のほかに、専門家用絵具、粘土、木材など、さまざまな素材をふんだんに使って、家庭や幼稚園などではなかなか体験できないダイナミックで高度な創造活動を展開しています。また、少人数制により、子ども一人ひとりの個性や興味に合わせた、きめこまやかな対応をしており、創造活動を習得してもらうための教育を実践しています。

その結果、子どもたちの集中力が育ち、今日までの概念に当てはまらないユニークな創造作品が生まれています。

#### ・幼稚園や保育園、高齢者施設で取り入れられている「童具」

保育園や幼稚園などの集団保育の場でも童具は採用されています。園児のなかには、長い時間をかけてじっくり自分の作品を作ったり、友達との共同作業で大きな作品に取り組んだり、子どもたちの創造力や共生意識を育成しています。

また、高齢者施設でもリハビリや創造的な活動に取り入れられることが増えており、認知症の老人が驚異的な集中力で創造活動ができるようになった、などの事例もあります。

こうした高齢者を中心とした大人の利用も、今後、さらに拡大され、ユニバーサルプレイングを通して、さまざまな立場の人々の交流が生まれていくと考えられます。



## 童具の特徴

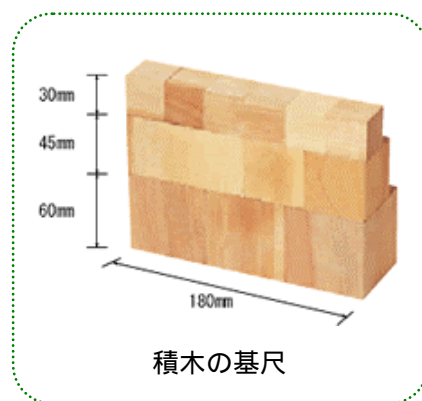
### ・子供にやさしい童具

長年にわたり遊具を研究し、積木を基礎にしたユニバーサルデザインの木製玩具を製作している童具館では、童謡・童話と同じように、玩具を「童具」と呼んでいます。童具は、温もりのある白木を用い、打ち合わせたときの心地よい音や木が本来持つ美しさを持っています。

### ・独自の基尺で組み合わせ自在

童具シリーズの積木には、基礎となる「WAKU - BLOCK」や「ケルンブロック」、「ケルンモザイク」など、さまざまな種類があります。しかし、独自の基尺（基本寸法）で統一され、寸法に数量的な法則性があるので、異なる積木を混ぜて積み重ねても、必ず同じ高さや長さになります。

積木の数や種類を増やしていったら、多様な創造世界を展開することができるので、子どもの成長や個性に合わせた遊びのバリエーションが楽しめるユニバーサルデザインの遊具だといえます。



### ・童具を使った作例



くるま（1才半～3才）



ザリガニ（3～4才）



お城（4才以上）

### 【連絡先】

問い合わせ先）株式会社 童具館

所在地）〒144-0034 東京都大田区西糀谷1-22-4

TEL）03-3744-0909 FAX）03-3744-0988